

### 3-4 1994年2月千葉県東方沖の地震活動について

#### Seismic Activity off the East of Chiba Prefecture in February, 1994

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

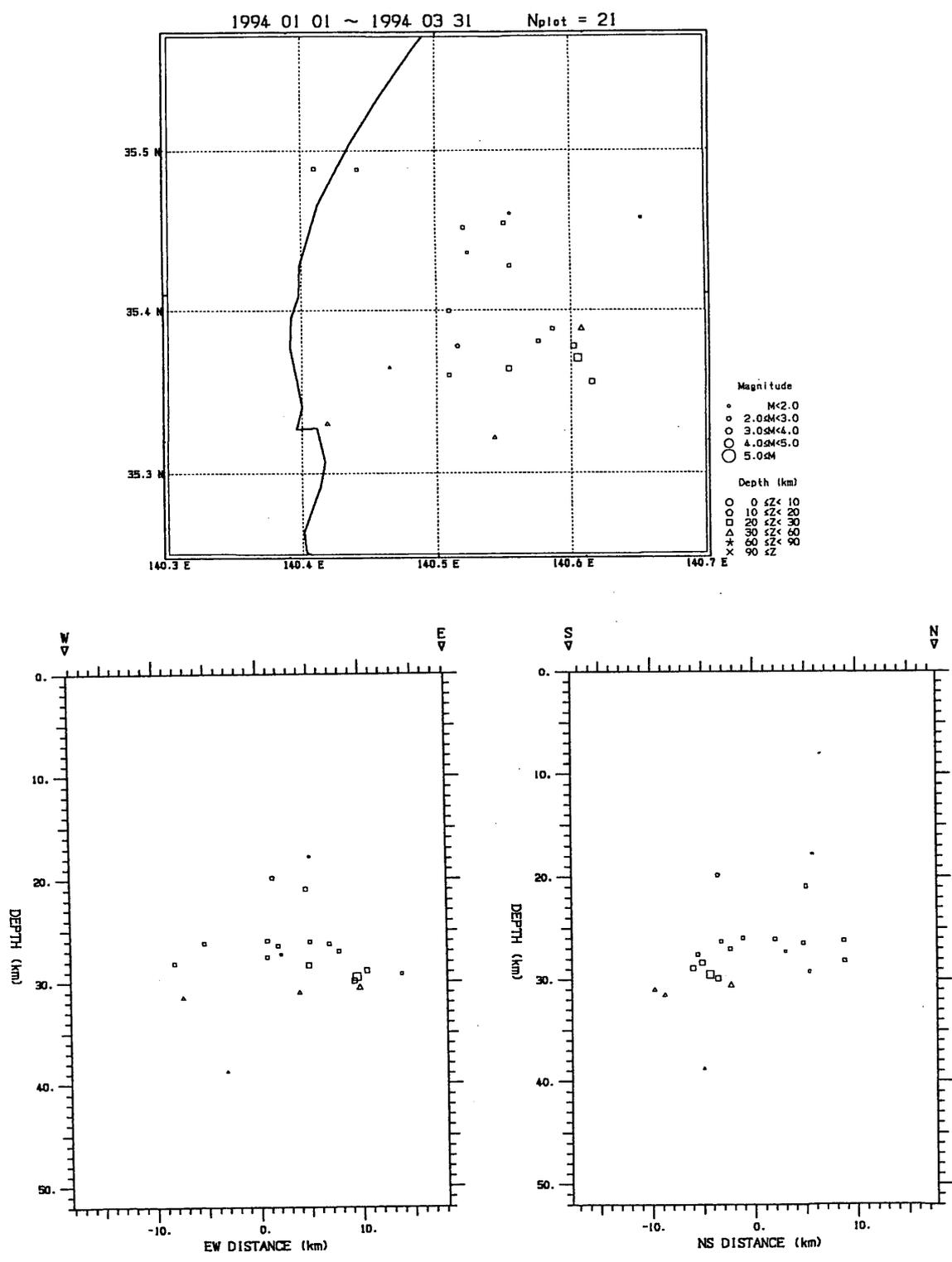
1994年2月8日から10日にかけて千葉県東方沖に比較的活発な地震活動が発生した。この間の最大地震は、10日00時52分、M4.3の地震である。第1図にこの活動の震源分布を示す。また、第2図には、1980年以降、今回の活動の前までの震源分布を示す。第2図の断面図から、この地域の活動は、深さ25~30kmに水平な層をなす分布と、これからほぼ鉛直に垂れ下がる分布の2つの分布からなることがわかる。岡田(1988, 1991)<sup>1), 2)</sup>によれば、前者は、フィリピン海プレート上面付近の地震、後者は、同プレートの先端部が鉛直に破断したもの(1987年12月17日M6.7の地震)である。今回の活動は前者に属している。

第3図には、1980年以降に発生した5回の主要な活動について、それぞれの震央分布と最大地震(Aについては第2位の地震)の発震機構解を示す。代表的な発震機構解は、南北圧縮の逆断層型、および北東-南西圧縮の横ずれ型または逆断層型とに分類されるが、それぞれは、上記の2つの分布に対応しており、岡田(1991)<sup>2)</sup>の結果とも整合している。

(松村正三)

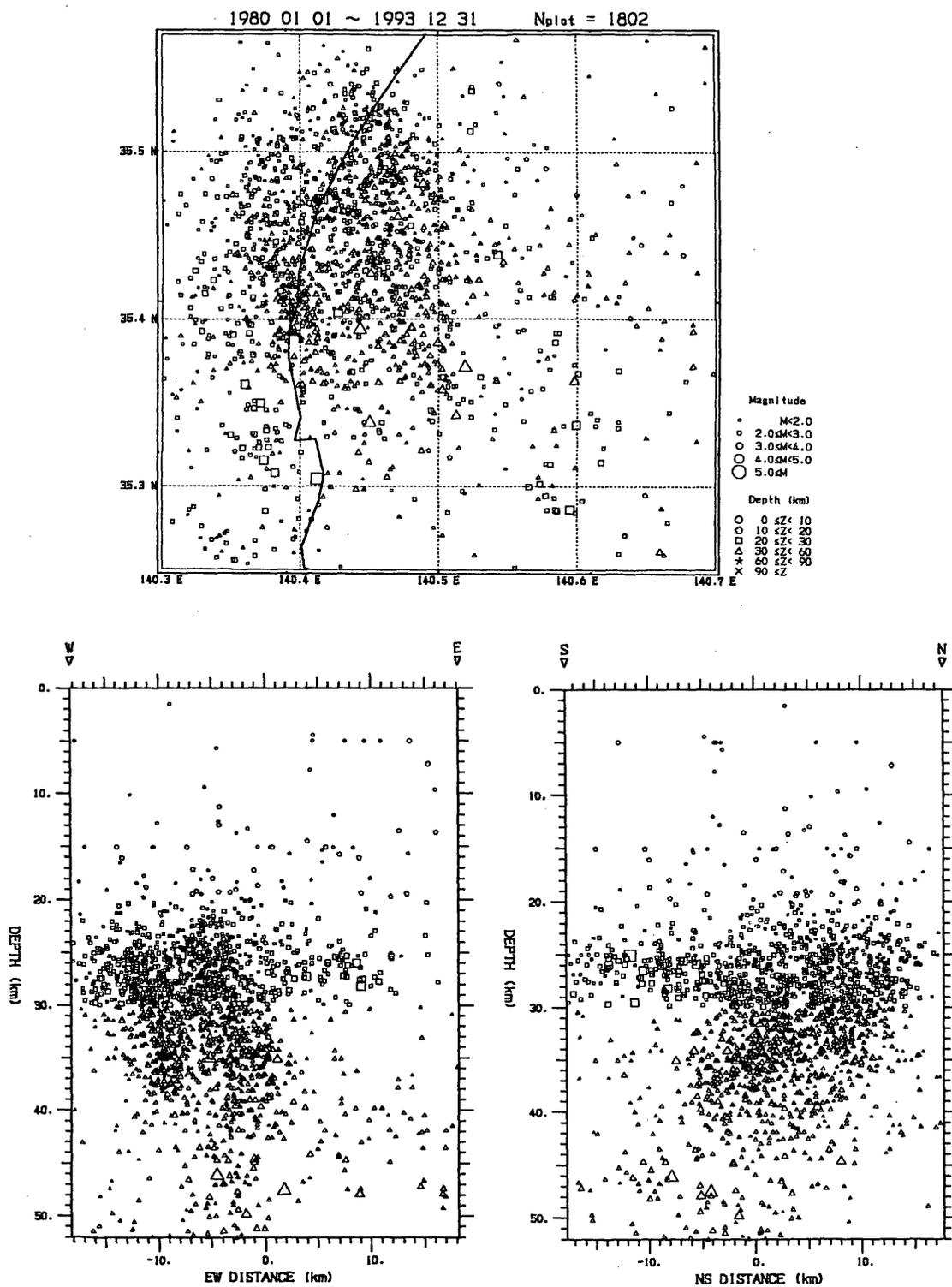
#### 参 考 文 献

- 1) 岡田義光：1987年12月17日千葉県東方沖地震，連絡会報，40(1988)，81-86.
- 2) 岡田義光：九十九里沿岸の最近の地震活動について，連絡会報，45(1991)，72-75.



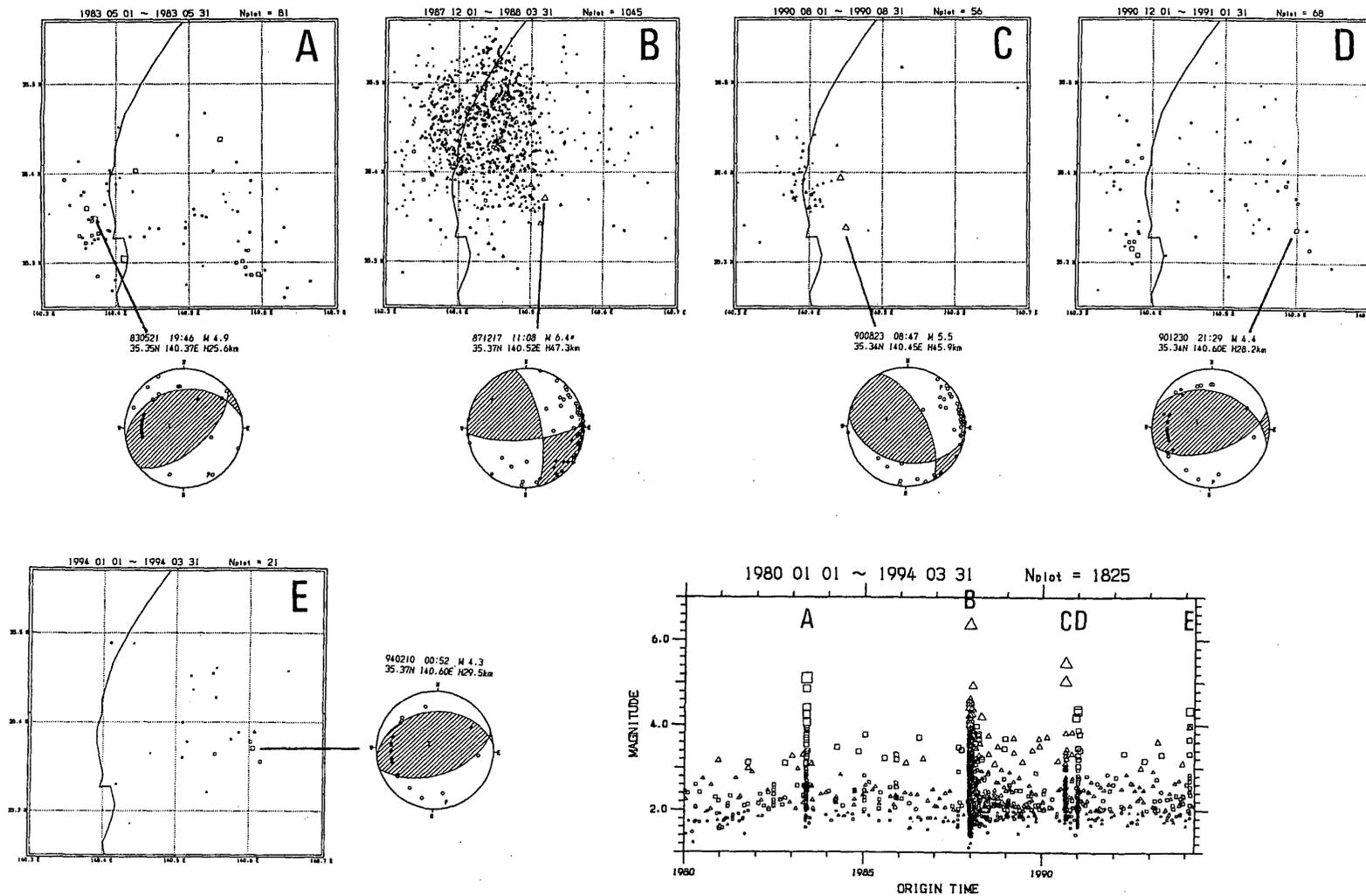
第1図 1994年1月～3月の千葉県東方沖の震源分布（平面図および東西（左図）・南北（右図）断面図）

Fig.1 Hypocenter distribution of the activity off the east of Chiba Prefecture in February, 1994. The bottom left is a profile in the EW direction, and the right in NS.



第 2 図 1980年～1993年の千葉県東方沖の震源分布（第 1 図と同じ範囲）

Fig.2 Hypocenter distribution in the same area as Fig.1 observed before the present event (from 1980 to 1993).



第3図 1980年以降の主な活動 (A~E) とそれぞれの最大地震 (Aについては第2位の地震) の発震機構解 (下半球投影)。  
右下はマグニチュードの時系列図。四角は浅い側, 三角は深い側の活動に対応する。

Fig.3 Major activities off the east of Chiba Prefecture after 1980, and representative focal mechanism solutions (lower hemisphere projection). The bottom right is a magnitude vs. time diagram, where squares and triangles indicate shallow (<30km) and deep (>30km) earthquakes, respectively.